

日本物理学会物理学史資料委員会ニュース

No. 3

編集・発行 日本物理学会物理学史資料委員会

2021年3月17日

一般社団法人 日本物理学会 物理学史資料委員会では、年3～4回の委員会議において、主として日本国内の物理学史資料の保管・収集などに関して情報交換を行っています。『日本物理学会物理学史資料委員会ニュース』は、その情報の一部をウェブ上で紹介するために刊行されています。

正確な内容をお届けするよう心がけますが、同委員会の委員の報告をもとに速報性を重視した構成とするため、情報が十分でない可能性があります。詳細については、関連する機関等に別途ご確認いただけますようお願い申し上げます。

1. 勝木渥氏物性研究史資料について

日本の物性物理学史研究のパイオニアであり、物理学史資料委員会の活動にも貢献された故・勝木渥氏の研究資料が、国立科学博物館に寄贈され、情報公開された。本資料はもともと、勝木氏が関心を同じくする研究者たちに配布したもので、受け取ったうちの一人が手元に保管していたものである。

本資料群は、勝木氏が日本の物性物理学史を研究する過程で作成した資料であり、計 79 点からなる。この中には以下が含まれる。

I：勝木通信……関心を同じくする研究者たちへの連絡として送付したもの

II：聞き書きノート……物性物理学者へのインタビュー（オーラル・ヒストリー）を文字起こししたもの

III：その他……以上に分類されないもの

このうち特に II は、1970 年代後半に実施された計 15 件のインタビューの記録であり、貴重な歴史資料と考えられる。大部分は出版されておらず、関係者のあいだでのみ共有されてきたが、今後は参照・引用が容易になると期待される。

本資料群の個々の資料情報は、国立科学博物館の「標本・資料統合データベース」(<http://db.kahaku.go.jp/webmuseum/>) で公開されている。「理工学資料」データベースで、検索フィールド「分類名」に「勝木渥氏物性研究史資料」と入れて検索すると、当該資料の一覧が表示される。
(有賀暢迪委員)

2. 『第三高等学校由来物理教育実験機器資料』が刊行されました

永平幸雄、塩瀬隆之『第三高等学校由来物理教育実験機器資料』、京都大学総合博物館収蔵資料目録 第7号、127pが2020年3月30日に京都大学総合博物館より発刊された。本書は同館所蔵の第三高等学校由来の物理実験機器すべてについて、機器写真、機器名、購入年、購入価格、納入業者名、参考文献等を掲載したものである。歴史的実験機器を所有する諸学術機関における機器同定作業等に有用であると考えられる。(永平幸雄委員)

3. 湯川秀樹史料関連の動き

湯川秀樹の愛用品を含む湯川関連の資料が湯川家から京都大学基礎物理学研究所湯川記念館史料室に新たに寄贈される予定である。また、史料室委員会の小沼通二委員らによる戦時中の湯川日記の分析結果が以下の新聞記事に掲載され、書籍としても公刊される。

・主要な新聞記事:「湯川博士 戦時下の胸中」「湯川博士 戦中日記に胸中」『京都新聞』2020年8月9日(日)、「戦後75年 湯川博士 軍事研究幅広く 戦時中の日記分析して判明」『毎日新聞』2020年8月18日(火)朝刊。

・小沼通二『湯川秀樹の戦争と平和』岩波書店、2020年8月4日刊行。

・小沼通二編『湯川秀樹日記 1945 京都で記した戦中戦後』京都新聞出版センター、2020年9月1日刊行。

湯川史料に関連した展示会は以下である。

・「科学者の見つけた詩—世界を見つめる目—」京都文化博物館、2021年1月5日～13日。

・「湯川秀樹と読書—ノーベル賞物理学者の原点—」京都大学基礎物理学研究所湯川記念館内の湯川記念室(旧所長室)、2021年4月～。

(小長谷大介委員)

4. AAPPS Bulletin に名古屋大学理学部物理学科の紹介記事が掲載されました

AAAPS (The Association of Asia Pacific Physical Societies) の会報に、名古屋大学理学部物理学科を、歴史を振り返りながら紹介する記事が発表された。

・Yuko Okamoto, "Department of Physics, Nagoya University," *AAPPS Bulletin*, Vol. 30, No. 5 (2020), pp. 33-40.

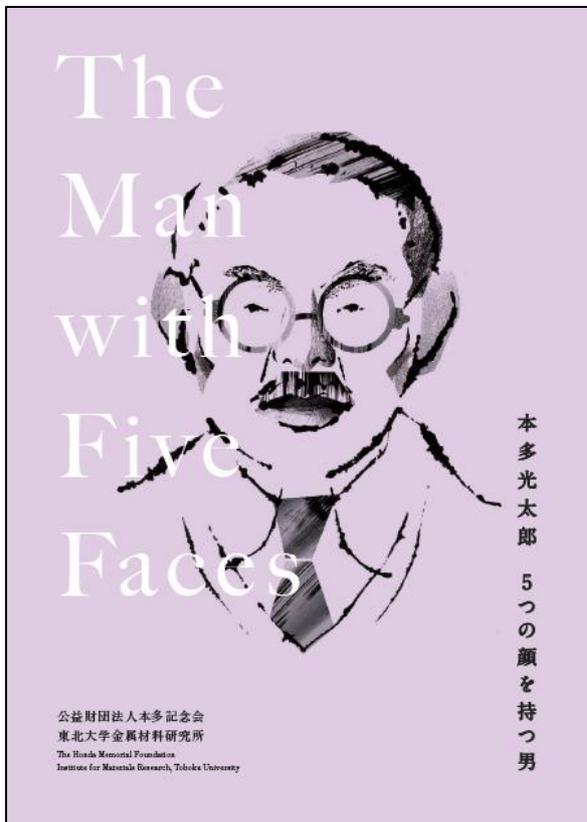
ウェブ上でも公開されている。

<http://aappsbulletin.org/myboard/read.php?Board=institutesinasp&id=118>

(岡本祐幸委員)

5. 本多光太郎生誕150年記念冊子「本多光太郎 5つの顔を持つ男」が刊行されました

本多光太郎（1870-1954 本会名誉会員(1950年授与)）は、KS磁石鋼の発明、茅誠司と行った鉄単結晶の結晶磁気異方性の実験的検証などにより冶金物理学、材料物性学の先駆者として著名である。また、東北帝国大学総長、日本金属学会の創設、東京理科大学初代学長など研究以外の面でも日本の科学技術・学術界の発展に貢献した。2020年は本多博士生誕150年にあたり、(公財)本多記念会と東北大学金属材料研究所が共同で記念冊子を作成・発刊した。研究以外の多彩な「顔」に着目した内容になっている。日本の科学技術史における位置づけ「歴史の中の本多光太郎」（初山高仁氏）などの記事もある。（佐々木孝彦委員）



PDF ダウンロード先（東北大学金属材料研究所刊行物一覧 HP）

<http://www.imr.tohoku.ac.jp/ja/public/publications/>

6. 本多光太郎の東京帝国大学理科大学数学物理学講義ノート（明治 27-29 年）が発見されました

本多光太郎が東京帝国大学理科大学の学生（1-3 年生）の時の数学、物理学の直筆講義ノート 3 冊が見つかった。菊池大麓（数学）、長岡半太郎（物理学）、田中館愛橘（物理学）、山川健次郎（物理学）らによる講義が日本語、英語が混在して筆記されている（東北大学金属材料研究所本多記念館展示室所蔵）。（佐々木孝彦委員）

・ Lectures in the Second Year Course

明治 27, 28 年東京帝大理科大学の数学及力学講義 物理学一—二年生 本多光太郎

Lectures on Differential Equations（微分方程式）藤沢 利喜太郎 教授（数学科）

「講義は日本語なれど重要な部分は英語にてデクテーションさせらる」

Lectures on Elliptic Functions（楕円関数）藤沢 利喜太郎 教授（数学科）

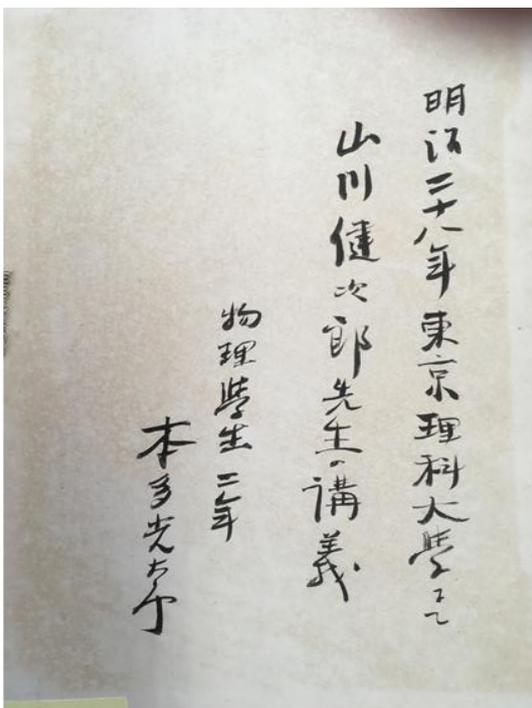
Lectures on Least Squares（最小二乗法）寺尾 壽 教授（星学科 附属東京天文台長）

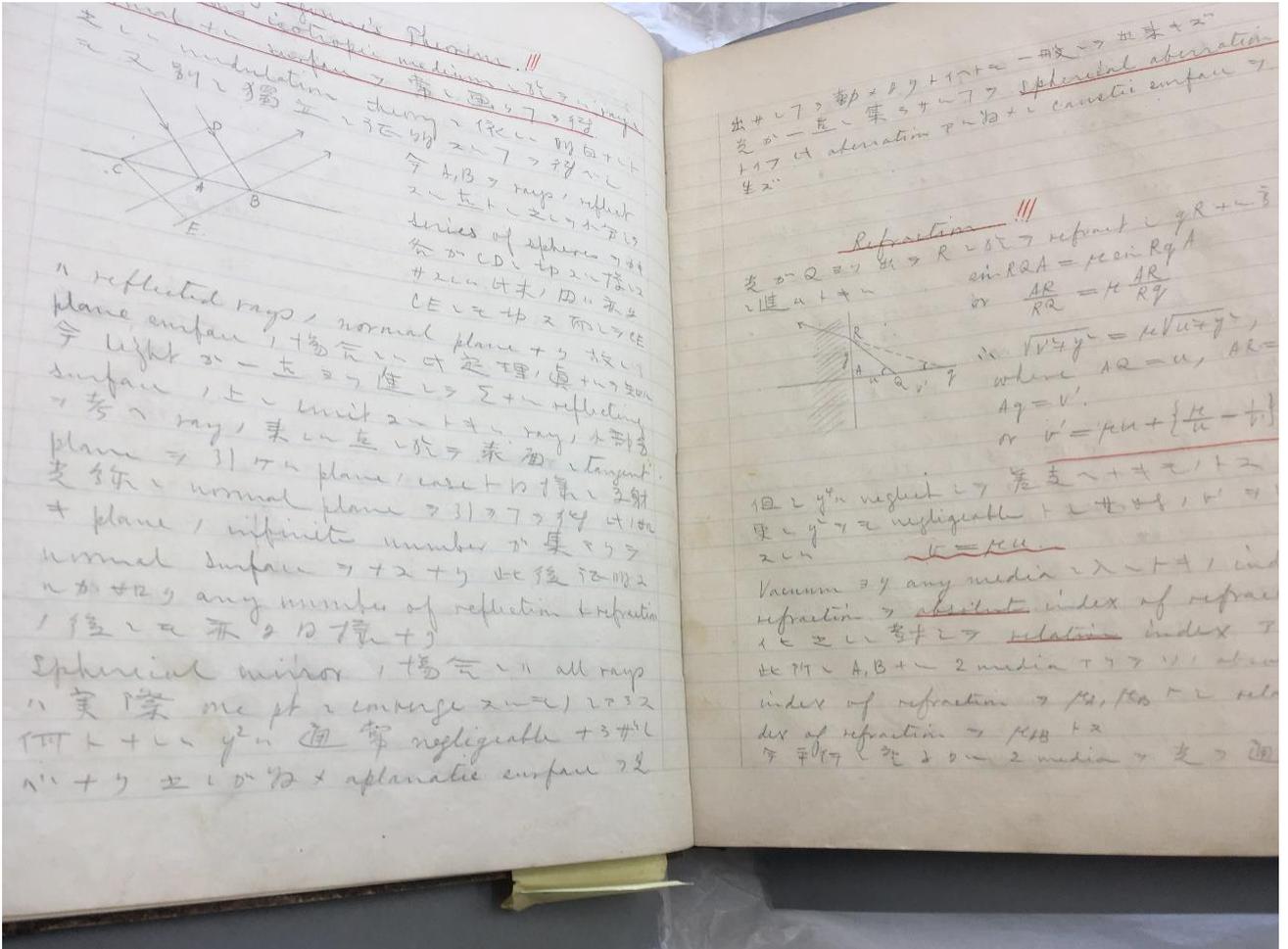
Lectures on Statics（静力学）菊池 大麓 教授（数学科）

・ Lectures in Physics Second Year Course

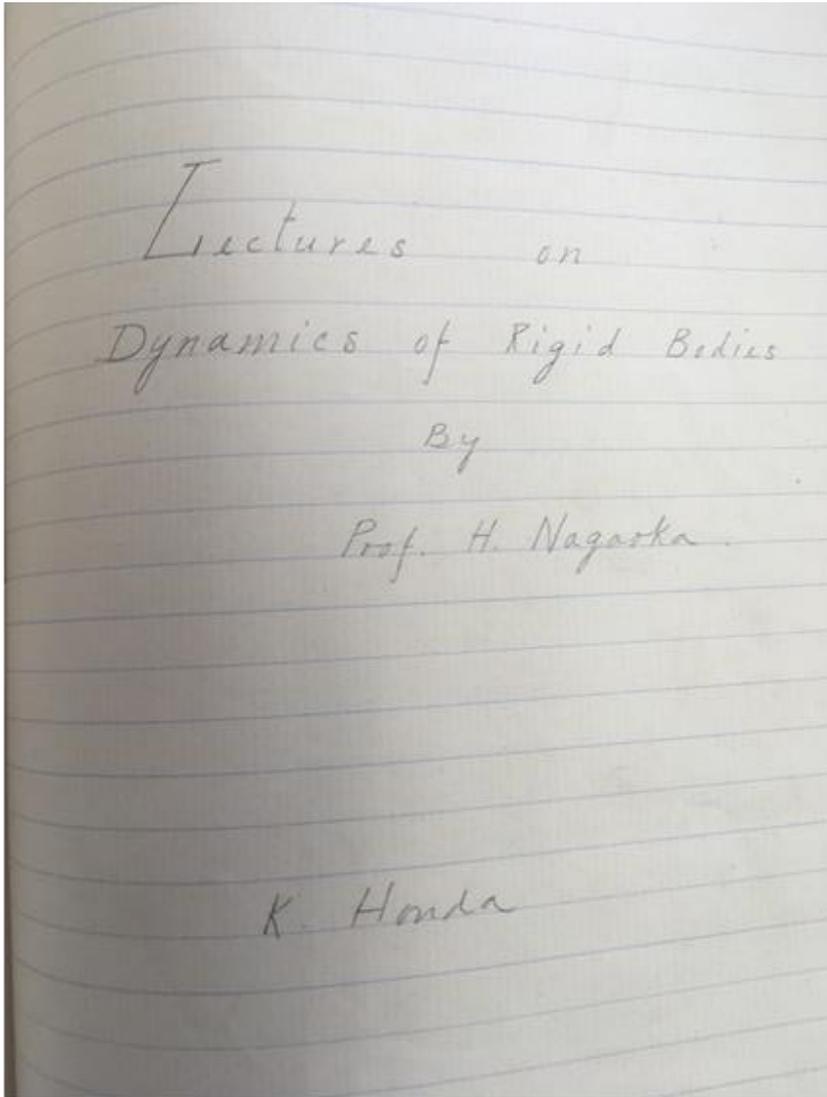
明治 28 年東京帝大理科大学にて山川健次郎先生の講義 物理学生二年 本多光太郎

山川 健次郎 教授（物理学科 理科大学長）





- Function-Theory Dynamics and Elasticity (関数理論、力学と弾性 3年生)
- Lectures on Function Theory (関数理論) 藤沢 利喜太郎 教授 (数学科)
- Lectures on Dynamics of Rigid Bodies (剛体力学) 長岡 半太郎 教授 (物理学科)
- Lectures on Hydro-Dynamics (流体力学) 長岡 半太郎 教授 (物理学科)
- Lectures on Elasticity 田中館 愛橘 教授 (物理学科)
- Lectures on Spherical Harmonics 長岡 半太郎 教授 (物理学科)
- Elliptic Co-ordinates 長岡 半太郎 教授 (物理学科)
- Lectures on Bessel's Function 長岡 半太郎 教授 (物理学科)



7. 山川健次郎関連のイェール大学図書館所蔵資料が紹介されました

日本人として初めて物理学教授(1879年、東京大学理学部)となり、初の理学博士号(1888年、帝国大学)を得た山川健次郎(1854-1931)は、東京帝大・九州帝大・京都帝大の総長を務めたことでも知られている。山川がアメリカ留学時(1872年-1875年)に学んだ内容や、同窓生たちとの生涯にわたる交流を物語る資料を用いた論文が刊行された。

・岡本拓司「山川健次郎のアメリカ留学：日本の物理学の黎明」、吉見俊哉／森本祥子編著『東大という思想：群像としての近代知』、東京大学出版会、2020年、67-91頁。

(岡本拓司委員)

以上